

浦田小で最後の入学式

●市立13小学校、5中学校で入学式



▲元気な声で返事をした新一年生（浦田小学校）

市内の多くの小中学校では、4月6日に入学式が行われ、新入生が学校生活に胸を躍らせて式に臨みました。

このうち、浦田小学校（神成寿寛校長、児童数23人）には、2人の新入生が入学。同校は、小学校再編計画により来年3月で閉校になるため、最後の入学式です。式では、上級生のお姉さんたちに手を引かれながら体育館に入場。新入生紹介で、先生から名前が呼ばれると「ハイ」と元気な声で返事をしていました。入学式の終了後に行われた2年生を迎える会では、上級生のお兄さんお姉さんが、歓迎の言葉やダンス、歌などを披露して、新入生を温かく迎え入れました。

今年は市内の小学校で221人、中学校で277人の新1年生が入学しました。

50回の節目新たなスタート

●河田杯マラソン



▲190人の選手が健脚を競った、第50回記念河田杯マラソン

陸上競技の幕開けを告げる第50回記念河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が4月21日、市役所前をスタート・ゴールとする周回コースで開催されました。

同大会は、長距離ランナーとして全国的に知られた旧鷹巣町の故・河田康雄さんの遺志を継承し、次代を担う選手育成と多くの人々にマラソンを楽しむんでもらおうと開催されているもので、今年は節目の50回目となります。

大会には、小学生から一般まで、市内外から190人が参加。選手たちは、暖かな春の陽気に包まれる絶好のコンディションのなか、沿道から家族らの応援を受けて、日頃鍛えた健脚を競い合いました。

観光振興計画の達成を

●第1回 北秋田市観光振興推進協議会



▲大型キャンペーンを控え、積極的な意見を交わした観光振興推進協議会

第1回北秋田市観光振興推進協議会が3月28日に開催され、各委員への委嘱状の交付や意見交換が行われました。市は平成22年3月に北秋田市観光振興計画を策定。その計画目標を具体的に達成するための実施計画の策定や、検証等を行うことを目的に、同協議会が設立されました。委員は観光関連団体や商工業関連団体、一般公募などにより選出され、任期は5年です。

観光が経済効果や地元の資源を活かすことで注目を浴びるなか、平成25年のJＲデスティネーションキャンペーンや平成26年の国民文化祭と大きなイベントを控えており、委員らは、各団体と連携を密にしながら、観光振興計画の達成を目標に意見交換をしました。

大きな期待を受けてダム完成

●森吉山ダム竣工式



▲森吉山ダムの完成を祝い、関係者がスイッチを押し記念放流をしました

森吉山ダム竣工式が3月20日、森吉山ダムで開催され、国や県、市、工事関係者、用地提供者らが出席しました。

森吉山ダムは、米代川の大洪水が発生した翌年、昭和48年4月に「阿仁川ダム工事調査事務所」が開設され、実施計画調査に着手。昭和63年に「森吉山ダム工事事務所」に改称し、平成14年にはダム本体工事に着手。平成22年に湛水試験を開始し一年間の調査を終え、計画から約40年の歳月を経て完成に至りました。

式では、事業報告、記念放流、故郷献花、記念碑の除幕などが行われました。最後は参加者全員の万歳三唱で、治水や安定した水供給の確保、観光や地域の発展と、多方面に渡る効果が期待される森吉山ダムの完成を祝いました。

自慢の味一堂に

●B M-1 グランプリ



▲一次審査で選ばれた作品を、さらに吟味した決勝審査

森吉山麓村興し会池田文明会長主催の第1回「B M-1 グランプリ」が4月21日、クウインズ森吉で行われました。

『B M-1 グランプリ』とは「バター」と「餅」の頭文字をとり、B級グルメの祭典である「B-1 グランプリ」の美味しさと、笑いの祭典である「M-1 グランプリ」の楽しさを併せもつ大会にしようという思いから名づけられました。

会場には、シソやクルミ、紫芋などが入った色とりどりのバター餅が並び、来場者300人の中から選ばれた、50人による一次審査と特別審査員12人の決勝審査が行われ、『見た目』『食感』『香り』など慎重に審査されました。

審査の結果、初代グランプリは「あぐりサークル（佐藤則子代表）」が選ばれました。

交通死亡事故ゼロをめざして

●春の全国交通安全運動



▲約160人が参加した阿仁部総決起集会（森吉庁舎前）

「急がずにマナーとゆとりで交通安全」をスローガンに、春の全国交通安全運動が4月6日から15日まで実施されました。

4月6日には、北秋田市市内の各所でも決起集会や交通安全パレードが行われ、市民に交通事故防止を訴えました。

このうち、森吉庁舎前で行われた阿仁部総決起集会には阿仁部交通安全協会、交通安全母の会、交通指導隊などから約160人が参加しました。

集会では、佐藤登阿仁部交通安全協会会長が「昨年、阿仁部管内では、4年ぶりに交通死亡事故ゼロとなった。交通事故が一件でも減るようにしたい」とあいさつ。この後、警察車両を先頭にパレードを行い、沿道の市民に交通安全を呼びかけました。